

# 富山市で「北陸防災情報通信セミナー」を開催

～災害時における情報の伝達・収集のために～



セミナーの様子

総務省北陸総合通信局（局長 濱島 秀夫）は、北陸情報通信協議会（会長 久和 進 北陸経済連合会会長）とともに、平成29年12月1日（金）、富山市内において「北陸防災情報通信セミナー」を開催しました。セミナーには、国や自治体の防災関係機関、電気通信事業者、放送事業者など約100名の参加がありました。

主催者を代表し松澤一砂北陸総合通信局無線通信部長が、平成29年の激甚災害と通信関係の被害状況の説明し、災害時に総務省が貸し出す「災害対策用移動通信機器」や「臨時災害放送局用機器」の紹介を交えて挨拶しました。

セミナーでは、はじめに、富山大学人文学部の大西 宏治准教授が「地図を活用した平時に行う防災訓練」と題して、富山県内の地図を示しながら市民の防災に対する意識や防災教育のあり方、地域の防災訓練と地域防災計画のあり方等を説明しました。

続いて株式会社NTTドコモ北陸支社の山本 雅人災害対策室長が「NTTドコモの災害対策」と題して、東日本大震災の教訓を踏まえた自社の新たな災害対策、熊本地震、平成29年九州北部豪雨・台風21号におけるサービスエリアの確保、無料Wi-Fiの設置等の取組を紹介しました。

最後に、富士通株式会社社会システム営業本部の吉田 千穂マネージャーが「IoTを活用した安心・安全な街づくりの取組」と題して、SNSを活用した防災・減災対策を事例を交えて紹介するとともに、機器を展示、デモを行いました。

会場では、災害時に総務省が地方公共団体等に貸し出しすることができるMCA無線機、簡易無線機、衛星携帯電話及び臨時災害放送局設備を展示しました。

参加者の関心は高く、MCA無線機及び簡易無線機による実際の通信を体験したり、87.3MHzによる臨時災害放送局のデモ放送をFMラジオで確認していました。



富山大学 大西准教授



ドコモ北陸支社 山本室長



富士通 吉田マネージャー



富士通が展示した機器



災害対策用移動通信機器



臨時災害放送局用機器

お問合せ先 無線通信部陸上課  
076-233-4480

総務省では、災害対策用移動通信機器や臨時災害放送局設備のほか、災害対策用移動電源車を配備しており、災害時に貸し出す体制を整えています。  
くわしくは、防災対策推進室(076-233-4479)まで連絡下さい。